

業界初！！

“ルータ”自動切り替え“A/Bスイッチ” RPS-24

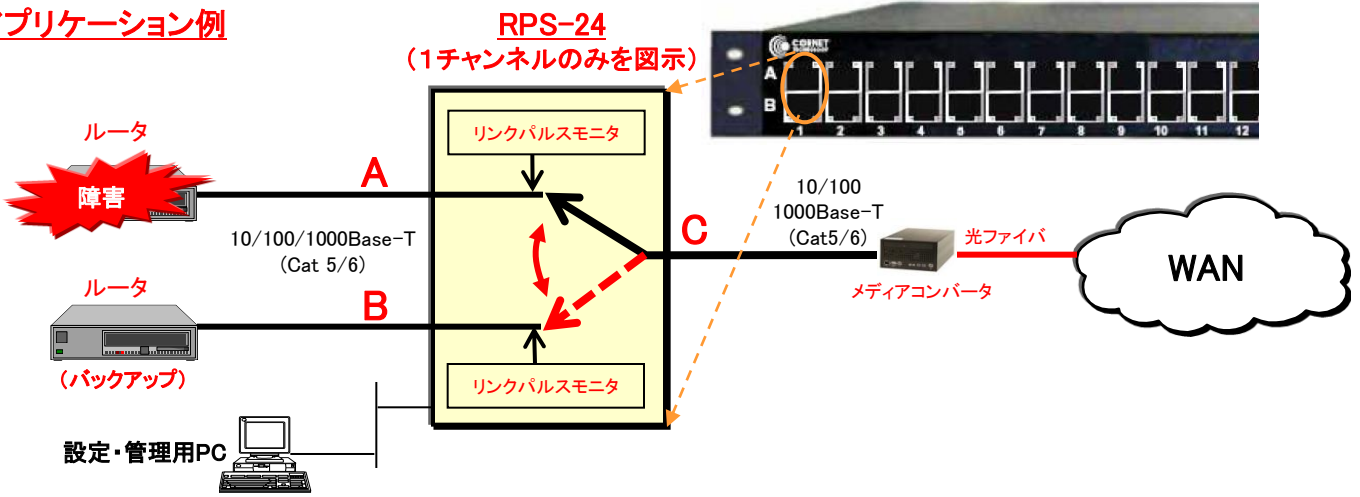


どんなに信頼性の高いネットワーク機器でも、何かが故障する可能性は常にあります。
ネットワーク機器のアップタイムが絶対に必要な場合、RPS-24は更なるセキュリティを提供します！

RPS-24(Router Protection Switch) は通信機器や回線のバックアップ用切り替えスイッチでは世界最多実績を誇るCornet Technology社(米国)が、業界で最初に開発した“L2/3スイッチやルータ”の“自動切り替えスイッチ”です。

スパンニングツリー等のソフトウェアによる“ルート変更”ではなく、切り替えは機械的な“ラッチングリレー”を用いて行ないますので
確実なバックアップが可能で、例えば電源が落ちてもしっかり接続はそのまま保持されます！

アプリケーション例



主な特長及び仕様

● 究極のバックアップソリューション

ルータやL2/3スイッチを含む10/100/1000Base-Tのインターフェイスを持つ機器の障害時に、簡単かつ迅速に予備系に切替える事ができ、ネットワークのダウンタイムの短縮と労力の低減を実現します。

ソフトウェアに頼らず、切り替えは機械式のリレーを用いて行いますので、機器ベンダ固有のアルゴリズム、バージョンやバグによらない確実、且つ究極的なバックアップソリューションです。更に、万が一電源が切れても接続は保持されるので安心です。

● 自動切換えによる無人化運用も可能

リンクパルスが落ちた時、自動的にA→B、B→Aに切り替える“自動切換え機能”を標準装備(10/100Base-Tのみに対応)、無人化運用も可能です。

● ローカル及びリモート制御

自動切換えの他、手動(各チャンネル毎、一斉)及びリモート切り替え(Telnet, RS232, Webブラウザ, SNMPにより制御)が可能です。

● スイッチング方式

メカニカルリレー(ラッチングタイプ)を用いた切り替え方式。切り替え時間はコマンド受信後、10ms以下。

● インターフェイス

- ・10/100/1000Base-Tをサポート(RJ-45コネクタ)
- ・A, B, Cポート×24チャンネル(合計RJ-45×72ポート装備/Cポートコネクタは背面装備)
- ・10/100Base-TはFull/Half自動検出

● A,Bポート常時モニターによるバックアップ機器障害検知

RPS-24はA,B両ポートのリンクパルスを常時監視する為、現用機器だけでなく、バックアップ機器側のポート障害も検知可能です。また、現用機器がリンクダウンしても、バックアップ機器のリンクパルスを検出できない場合は切替えを実行しません。

● SNMPによる各種障害、イベント通知

リンクダウン、電源障害等のアラームの他、切替の発生もSNMPトラップとして通知する事が可能です。

● コンパクトサイズ(1Uシャーシで24チャンネルサポート)

H: 1U(4.44cm), D: 23.5cm, W: 19インチ標準。

● 2重化電源(PSC-4)

- ・PSC-4ユニット1台にて2台のRPS-24(計48チャンネル)をサポート
- ・100~240VAC, 50W/台(RPS-24)。

● 動作環境 温度: 0~50°C. 湿度: 10~80%(結露せぬこと)。

● 認定 CE73/23/EEC; 89/336/EEC; 99/5/EEC; ROHS, WEEE



日本コーネット・テクノロジー株式会社

東京都台東区東上野1-12-2 〒110-0015

(TEL) 03-5817-3655 (代) (FAX) 03-5817-3677

www.nihon-cornet.co.jp

※本文中の会社名、製品名は、各社の商標又は登録商標です。